

「内なる月山」を描きつづけた画人の軌跡



「新生 I」(キャンバスに油彩、F100号、2000年制作、第68回独立展入選)

白幡 進 回顧展

2021年 6月9日(水)～7月19日(月)

Chido Museum



致道博物館

主催:公益財団法人致道博物館、白幡進回顧展実行委員会 共催:山形県、(公財)山形県生涯学習文化財団、鶴岡市教育委員会
〒997-0036 鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199 9:00open-17:00closed 会期中無休 入館料:一般800円、高大生400円、小中生300円(常設展示含む)

2021年6月9日(水)～7月19日(月)

白幡進 回顧展

「内なる月山」を描きつづけた画人の軌跡

絵を描くとき 私のところはひとりでに
東の方を向いてしまうのです 子供の頃から そうでした
東の方には 大きな鳥居があり 巨岩があり 即身仏があります
揺らぐことのない 自然と人間の一体感があります
それは 私の 内なる月山 であり 男と女 生と死 という現実の
生命と重なっているのです
この 原初的な生命感のようなものを表現したい というのが
私の願いです

2009年3月「ギャラリーまつ」での個展あいさつ文より

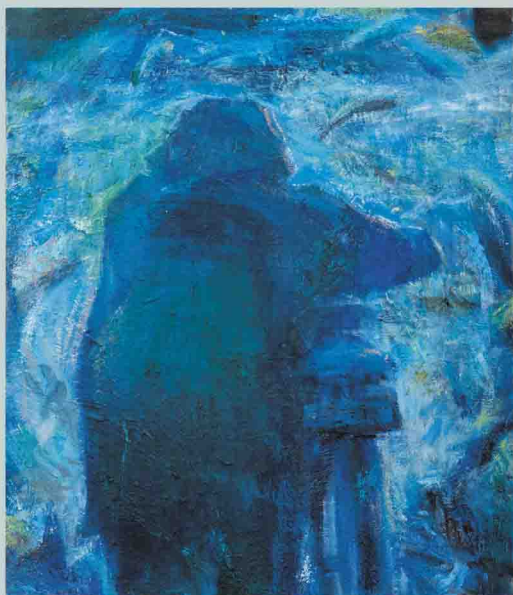
庄内の自然を愛し、人間を愛し、絵を描くことを愛してやまなかった、ひとりの画人・白幡進(1934-2018)氏の、画業の軌跡を辿る大回顧展。
本展は、内包する精神世界を描いた晩年のテーマ「人間の生と死」のほか、高校時代の自画像や青年期に制作した静物・風景・裸婦、教員時代に描いた身近な人々や家族などを一堂に紹介します。

第一会場(美術展示会場)では、代表作「悠久」「新生」ほか、大作の油彩作品を中心に約30点を展観。また、学校買い上げとなった卒業制作「風景」(金沢美術工芸大学所蔵)や、鶴岡南高等学校所蔵の「老人」などを特別展示いたします。

第二会場(重要文化財旧鶴岡警察署庁舎内)では、学生時代のデッサンや油彩画、習作、同窓会報「鶴翔」表紙原画などを公開します。



「山麓」(キャンバスに油彩、F100号、2018年制作、白襷社美術展出品)



「自転車をはく人」(キャンバスに油彩、F10号、1980年頃制作)



「森の聖母子」(キャンバスに油彩、F50号、1973年制作)



白幡 進(しらはたすすむ)
昭和9年(1934)、鶴岡市に生まれる。
鶴岡南高等学校、金沢美術工芸大学油
画科卒業。中学・高校美術教員として、
多くの後進を育てる。
美術団体「白襷社」の会員・委員として
長く運営に携わり、平成16年(2004)か
らは委員長として鶴岡の芸術文化振興
に寄与した。元致道博物館評議員。

写真:板垣徳市氏撮影、白幡家提供

◆◆◆ 会期中のイベント ◆◆◆◆◆ 申込不要、直接会場へ ◆◆

◆対談形式による ギャラリー・トーク「画人と作品」

櫻井徳喜 氏(元中学校校長／大学時代後輩)
齋藤 拓 氏(高校教員／高校時代の教え子)
日時:6月12日(土)午後2時より(約1時間)

◆芸術談義 「江川満の、白幡芸術を勝手に解釈」

江川 満 氏(陶芸家／大学同窓)
日時:6月19日(土)午後2時より(約1時間)



重要文化財
旧渋谷家住宅



国指定名勝
酒井氏庭園



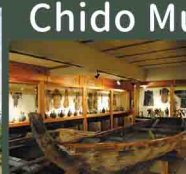
旧庄内藩主
御隠殿



重要文化財
旧鶴岡警察署庁舎



重要文化財
西田川郡役所



重要有形民俗文化財
収蔵庫



民具の蔵



美術展示会場
(企画展示会場)

Chido Museum Information



- JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分
- 山形自動車道
鶴岡I.C.より
車で5分
- 庄内空港より
車で20分



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18

電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531

https://www.chido.jp/ E-mail:infochido@chido.jp

「致道(ちどう)」は、
庄内藩校致道館に
由縁し、出典
は『論語』で「君
子学んで以って
其の道を致す」
です。

